

冷房いらずで環境貢献

新温浴施設に着工

玉岡設計

長久手へ開設
風通し工夫 提案営業も積極化

なして過ごせる温浴施設設計とした。施設内部は、来場者や、従業員の動線を意識し、効率的な配置を実現。また、光や音といった癒し効果の異なる五つの岩盤浴の設置や、レストランの充実を図り、人工温泉では日本全国の名湯を日替わりで提供するなど、エンターテインメント性も重要視した。同社は、温浴施設の

新設と合わせて、既存温浴施設の改装・再生事業も行っている。現在、県内で2件の再生案件も手掛け、地域特性、施主の意向を踏まえた対応に努めている。佐藤常務は「温浴施設の設計や再生事業のノウハウは、旅館、介護施設など、他施設にも活用できる。他分野への積極的な提案も行っていきたい」としている。

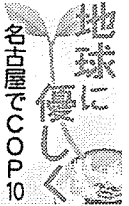
建築設計事務所の玉岡設計（本社名古屋市中区新栄1の39の21・ライトビル、玉岡宏光社長、電話052・261・7626）は、新たに設計した長久手の温浴施設の着工を開始した。風通しに配慮し、8月にクーラーを必要としない設計で、省エネ・環境型施設を目指した。来春のオープン予定。同社は今後、温浴事業で培った設計ノウハウを、旅館や介護施設など、他施設にも提案していきたい考えだ。

（浅井勲）



長久手温浴施設のイメージパース

場を提供することを目標とした。近年の温暖化を受け、熱帯地域の沖縄建築様式を採用。外壁に植物による「緑のカーテン」も設置した。また、物件が高台にある



同社が今回設計を手掛けたのは、長久手の温浴施設。敷地面積は約1万1千平方メートル。275台分の駐車場スペースを用意し、年間50万人程度の来場者を見込む。

数々の温浴施設設計実績を誇る同社が、今回の物件に関して、商業施設、レジャー施設の研究から、サウナ、温浴業界の意見聴取まで再度徹底して行った。来場者がリラックスして長く滞在できる